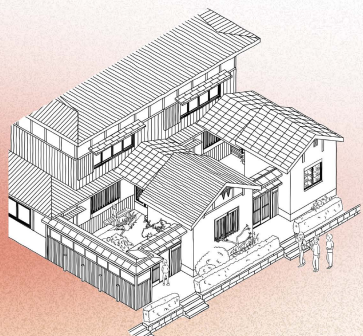
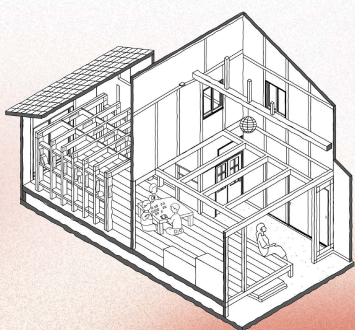
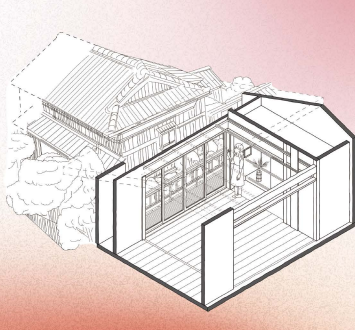




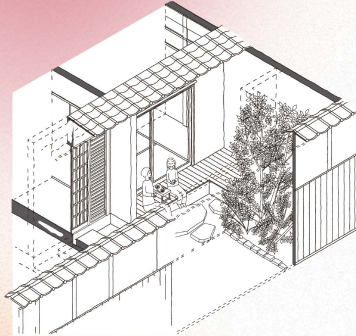
菱屋西 染め色遊び
／可愛らしく出迎える屋根



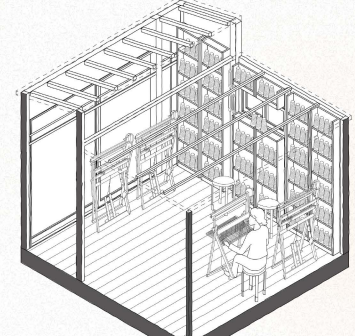
ながせのながや
／開放感に満ちた賑わいの部屋



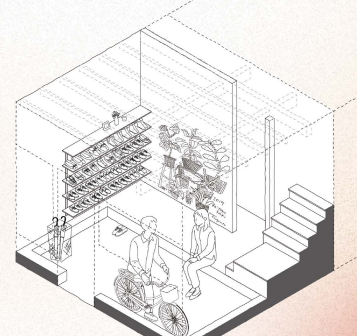
豊崎長屋 東長屋1
／窓から感じる、四季の移ろい



豊崎長屋 東長屋3
／穏やかな時間が流れる縁側

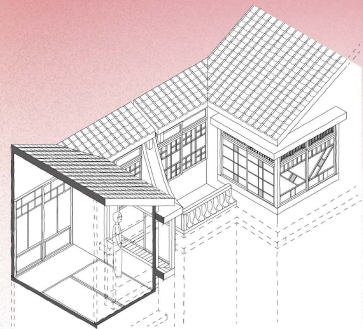


SAORI 豊崎長屋
／木のぬくもりが心地よい創作空間

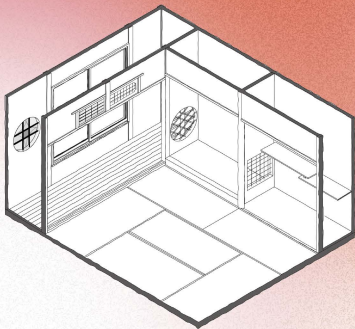


Re:Toyosaki
／暮らしを迎え入れる、ひらかれた玄関

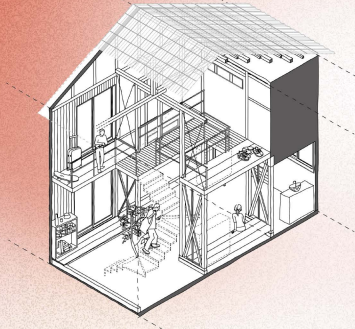
伝えたい。 受け継がれるナガヤと 暮らしのカタチ。



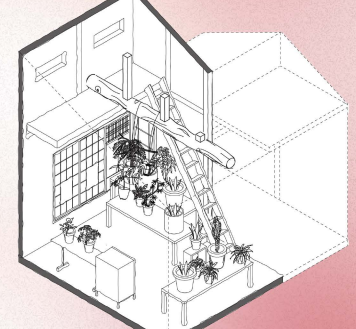
西住之江長屋 1・2
／長屋に居ながら長屋を感じる空間



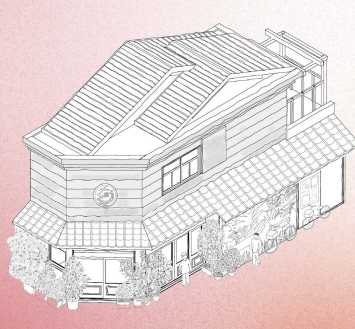
西住之江長屋 3
／和と洋が交わる和室



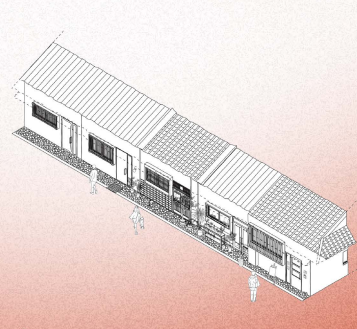
はちふく文化 GAMO-4
／住人同士が交流できる共用部分



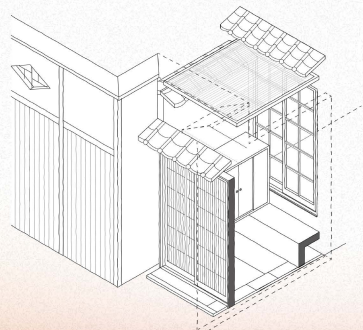
komorebi plants
／大きな梁と木の空間



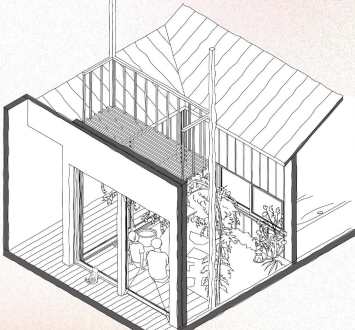
アトリエ観
／歴史を語る緑青



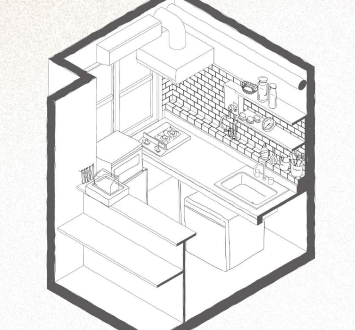
東田辺3丁目長屋
／一つの屋根がつなぐ、多様な長屋の表情



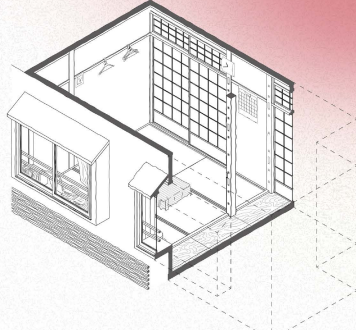
玉三三長屋
／空とつながる玄関・長屋に息づく風と緑の庭



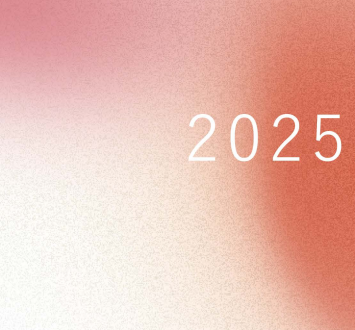
長池の長屋
／暮らしを明るくする中庭



アベノ洋風長屋
／心地よいアクセントのタイル



種ノ箱（露地再生複合施設 宰）
／空間の成り立ちを教えてくれる柱



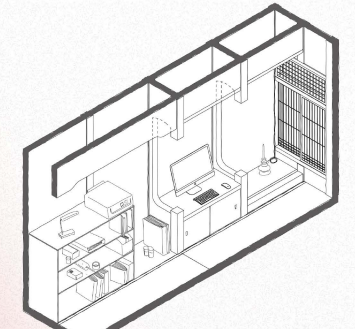
水照庵
／歴史を伝えるステンドグラス



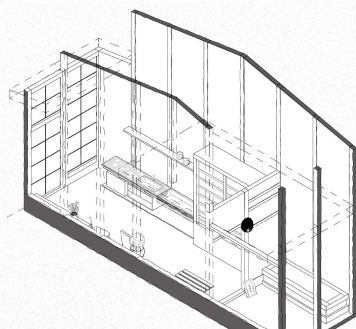
カエルハウス
／DIY 精神の象徴、一斗缶

第15回 オープンナガヤ大阪 2025 活動記録集

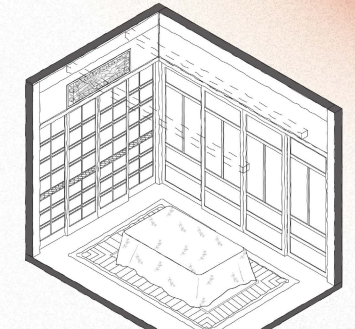
2025.10.04(sat)
-05(sun)



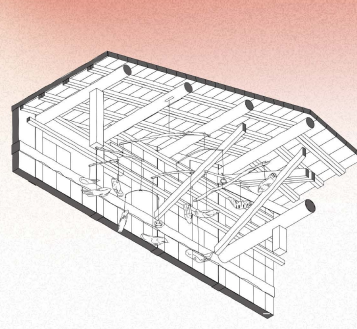
アジアたてもの文庫
／現代の暮らしに適應する床の間



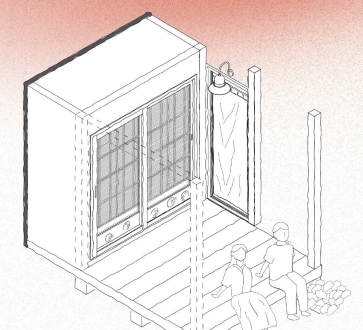
にしきのながや
／通り庭がつなぐ光と風



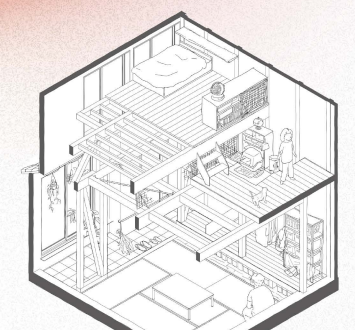
ヨシナガヤ
／本棚のある大空間



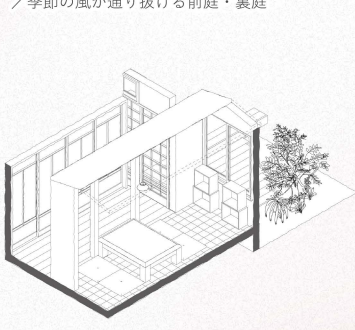
松虫通3丁目の長屋
／心を穏やかにしてくれる吹き抜け



須栄広長屋
／風と光の通り道



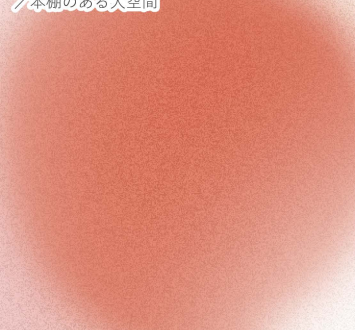
連×ナガヤ46
／立体的に繋がる長屋



桃ヶ池長屋
／中庭をのぞむ集いの客間



海船長屋
／路地を眺める窓



林寺二丁目長屋1
／開放感あふれるカフェエリア



林寺二丁目長屋2
／音レ庭



OPEN NAGAYA
OSAKA

2025

<https://www.omu.ac.jp/life/opennagaya/>



公式HP



Instagram



X (旧Twitter)



Facebook



菱屋西 染め色遊び (36)



ながせのながや (15)



豊崎長屋 東長屋1 (55)



豊崎長屋 東長屋3 (55)



SAORI 豊崎長屋 (50)



Re:Toyosaki (16)

開催概要

今年度で15回目となるオープンナガヤ大阪2025は、「暮らしびらき」をテーマに長屋を訪れ、体感することのできるオープンハウスイベントです。今年は大阪市だけでなく、東大阪市や堺市からも参加があり、計33会場となりました。

また、蒲生エリアの「はちふく文化GAMO-4」、堺エリアの「海船長屋」の2軒が初参加となりました。昨年度の平野・住之江・堺の3エリアに加え、今年新たに東大阪エリア・須栄広長屋の2つのまちあるきツアーが企画され、合計5つのツアーが行われ、長屋人のみなさんの前向きな参加と協力を強く感じられました。

当日は雨天に見舞われながらも、二日間で延べ1248名の来場者が訪れ、さまざまなナガヤの表情を楽しみました。

※ナガヤ名の横()内に、各長屋の来場者数を記載しています。

テーマ：対話による長屋の価値の再発見と共有

近年のオープンナガヤでは、運営学生が企画を立て、長屋人が当日の案内を担当するという役割分担が定着し、互いに意見を交わす機会が少なくなっていました。

そこで今年度は、改めて長屋のことを深く知るために、例年より多く実行委員会を開催し、事前訪問としてインタビューや実測を通して、長屋人との対話を重ねました。

この過程で得た対話を来場者にも共有したいと考え、今年のプログラムでは「長屋魅力引出パネル」と「名札」を作成し、会場で活用しました。



NO-DO (32)



レンタルスペース 木もれび (8)



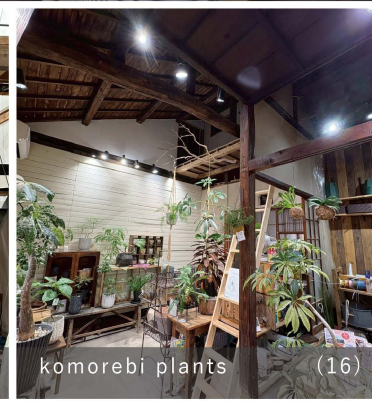
西住之江長屋1・2 (35)



西住之江長屋3 (35)



はちふく文化 GAMO-4 (45)



komorebi plants (16)



アトリエ観 (40)



東田辺3丁目長屋 (15)



玉二三長屋 (22)



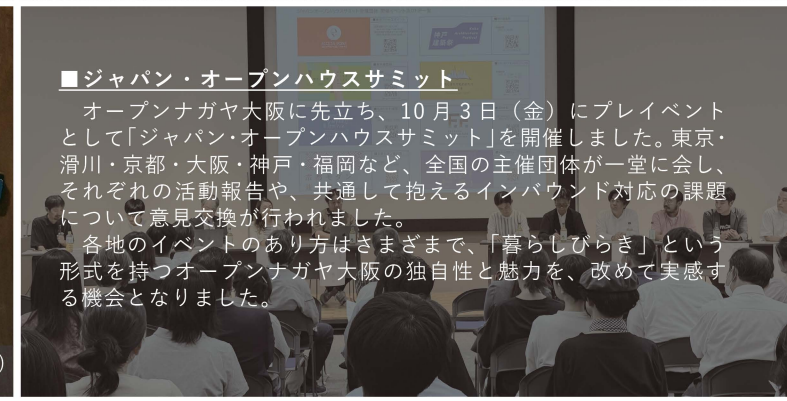
長池の長屋 (75)



アベノ洋風長屋 (15)



種ノ箱 (露地再生複合施設 宰)(9)



■ジャパン・オープンハウスサミット

オープンナガヤ大阪に先立ち、10月3日(金)にプレイベントとして「ジャパン・オープンハウスサミット」を開催しました。東京・滑川・京都・大阪・神戸・福岡など、全国の主催団体が一堂に会し、それぞれの活動報告や、共通して抱えるインバウンド対応の課題について意見交換が行われました。

各地のイベントのあり方はさまざまですが、「暮らしびらき」という形式を持つオープンナガヤ大阪の独自性と魅力を、改めて実感する機会となりました。

パネル

事前訪問では、長屋人に「このナガヤのお気に入りのポイントはどこですか?」という質問をきっかけに対話を深めました。

その中で、歴史を感じる素材や、改修による現代に合わせたデザイン、光や風を取り込む昔ながらの工夫、住み継いできた家族との思い出、とお気に入りである理由や価値基準はさまざまでした。

これらの魅力をアイソメ図で可視化し掲示することで、来場者と長屋人の対話のきっかけとしました。



アジアたてもの文庫 (47)



にしきのながや (12)



水照庵 (20)



カエルハウス (36)

名札

事前の対話を通して、長屋人の長屋との関わり方、学生の長屋への興味関心はさまざまであることが見えてきました。

そこでそれぞれの興味を可視化することで、来場者と長屋人の対話がより生まれやすくなるよう、またオープンナガヤへの参加意識を高められるようにと考え、オリジナル名札を作成しました。



ものきながや (72)



ろおじ (8)



ヨシナガヤ (80)



松虫通3丁目の長屋 (38)



須栄広長屋 (67)



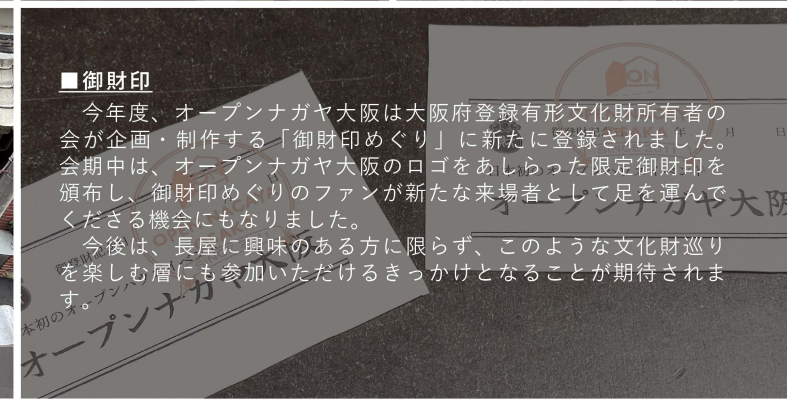
連×ナガヤ 46 (97)



桃ヶ池長屋 (89)



海船長屋 (15)



■御財印

今年度、オープンナガヤ大阪は大阪府登録有形文化財所有者の会が企画・制作する「御財印めぐり」に新たに登録されました。会期中は、オープンナガヤ大阪のロゴをあしらった限定御財印を頒布し、御財印めぐりのファンが新たな来場者として足を運んでくださる機会にもなりました。

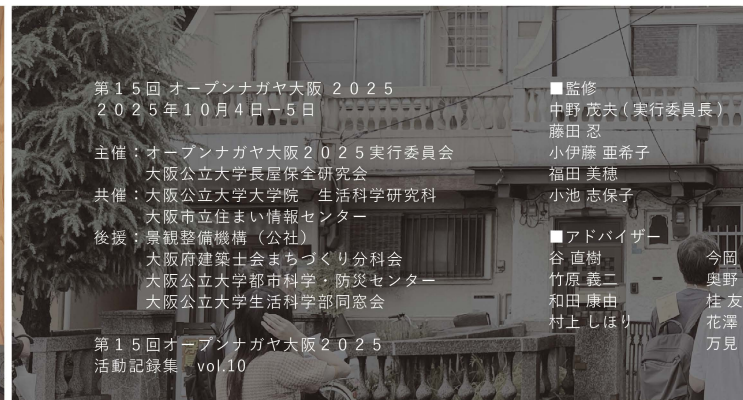
今後は、長屋に興味のある方に限らず、このような文化財巡りを楽しむ層にも参加いただけるきっかけとなることが期待されます。



林寺二丁目長屋1 (55)



林寺二丁目長屋2 (73)



第15回 オープンナガヤ大阪 2025

2025年10月4日〜5日

主催：オープンナガヤ大阪2025実行委員会

大阪公立大学長屋保全研究会

共催：大阪公立大学大学院 生活科学研究科

大阪市立住まい情報センター

後援：景観整備機構(公社)

大阪府建築士会まちづくり分科会

大阪公立大学都市科学・防災センター

大阪公立大学生活科学部同窓会

第15回オープンナガヤ大阪2025

活動記録集 vol.10

監修

中野 茂夫(実行委員長)

藤田 忍

小伊藤 亜希子

福田 美穂

小池 志保子

アドバイザー

谷直樹

竹原 義二

和田 康由

村上 じほり

今岡 千幸

奥野 一慶

桂 友翔

花澤 悠生

万見 里穂子

編集・デザイン

森田 峻平

坂谷 快生

富田 玲菜

名古 智理

山崎 七美

土井 侑史

綱本 琴

吉永 規夫

木内 菜津子

続播

田邊 鈴音(事務局長)

林 幹太

江原 千咲

芳村 海渡

綿田 章乃

岩村 樹花

橋本 健太郎

スタッフ

山口 はる

木村 輝明

伊東 裕次郎

小林 美月

五之治 優生

高木 梨帆

有田 楓

菊池 暖

久保 亜沙美

笹井 泉希

佐伯 萌花

三田 陽菜

協力

藤原 睦

堀池 里織

松本 美優

村田 薫音